

## 文化団体事業

### 第32回旺玄会埼玉支部展

一般社団法人旺玄会埼玉支部 埼玉県立近代美術館

8月1日(火)～6日(日) 10:00～17:30 (最終日は16:00まで)

#### 当日の状況

本展覧会において出品作家は54名、出品数は79点であった。

期間中は猛暑にも関わらず、毎日100名を超す入場者数があり、総計680名の入場者があった。県内だけでなく、東京、神奈川、千葉等、関東近県からの来場者も多かった。

#### 成果

出品作家数及び作品の質が高く、多くの来場者及び評論家の方より賞賛の言葉をいただいた。本展覧会が地域の文化向上の糧となったと思う。ただし、近年の猛暑を考えると開催時期の検討が課題となる。

#### 主催

一般社団法人旺玄会埼玉支部  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第28回埼玉県書道芸術展

埼玉県書道芸術連盟 埼玉会館

8月3日(木)～6日(日) 9:00～17:00

### 当日の状況

8月3日から6日までの4日間にわたって開催し、役員・準役員作品のほか、児童生徒部は準特選以上、一般部は秀作以上の作品が陳列された。公開期間中、観覧者は2900人に達した。表彰式も予定通り実施した。

### 成果

コロナが落ち着いたためか、大変多くの観覧者が来場し、熱心に丁寧に作品を見ていた。

児童生徒部については例年通りハイレベルな作品が多く、「素晴らしい」「感動した」という声が多かった。

一般作品は会派・書風が様々で、書の多彩な表現や可能性について賞賛の声が多かった。

表彰式で表彰を受ける受賞者の嬉しそうな顔が印象的だった。

### 主催

埼玉県書道芸術連盟

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第45回墨晨書道会展 “墨の祭り”

墨晨書道会 埼玉会館

8月25日(金)～28日(月) 9:00～17:00

### 当日の状況

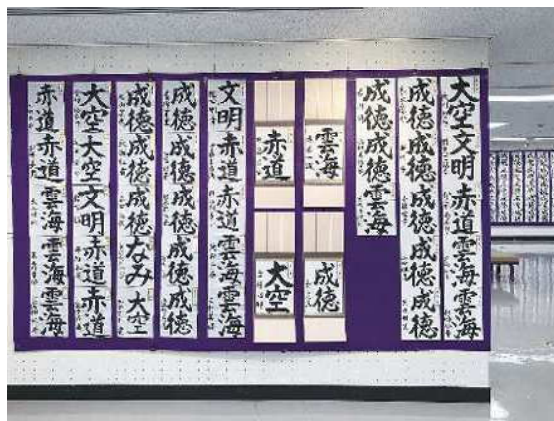
会場の都合で一般部が半切サイズ以下となり少々手狭であったが、最大限の力作を並べることができた。出品者にも、来場者にも充分な見ごたえがあったものと自負している。

### 成果

一般部 役員 半切額装または軸装50点、  
第1科 半切額装24点、第2科 軸装52点、  
第3科 半紙掛け26点、合計152点。  
墨晨大賞1名、埼玉新聞社賞1名、産経新聞社賞1名、埼玉書道人連盟賞1名、特選ほか。  
学生部幼年～中学生 毛筆593点、硬筆354点、合計947点。墨晨大賞7名、墨晨準大賞17名、埼玉新聞社賞1名、産経新聞社賞1名、推薦23名、特選ほか。

### 主催

墨晨書道会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第54回交通安全祈願蘭生書道展

蘭生書道会 川口総合文化センターリリア

8月26日(土) 9:30~17:00 27日(日) 9:30~15:00

### 当日の状況

2日間にわたって開催し、初日には音楽ホールにて授賞式を挙行了。展示は展示ホール・催し広場を使用して行われ、1,400名を超える来場者で賑わった。遠くは秋田・兵庫より都内からも来場があった。県内よりの来場者が大半を占めた。

### 成果

交通安全に関する文字句・標語を心を込めて書き作品として展示し、県内外の多くの方々に見てもらう事で書く人・見る人全てに交通安全の意識の啓蒙が大いにはかれ、成果を上げられた。

### 主催

蘭生書道会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第61回公募新構造埼玉展

一般社団法人新構造社埼玉支部 埼玉県立近代美術館  
8月29日(火)～9月3日(日) 10:00～17:30

### 当日の状況

埼玉県立近代美術館を会場に6日間の日程で公募展を開催した。一般出品者を募集するため、当会ホームページで発信するなど応募者を募ったが、今回は期待外れであった。内部審査により64点の中から知事賞他10名が受賞された。

会場では、夏休み終盤の学生を含め、出品者・当会関係者や美術館入場者で連日賑わった。

### 成果

本美術展は、開催目的に「創造的表現の開発をはかり、豊かな人間性を養い、よりよい埼玉県の文化社会建設に寄与する」とある。アンケートの感想等の中で「広々とした会場で見やすかった」という意見が多かったが、会場を満たす作品が揃わなかったとも言え、反省点の一つでもあった。

他に来館者からの評価で、絵画では斬新な手法や一つのテーマに即したシリーズものが多かった。写真・版画もデジタル加工などを駆使した作品も多かったという声が届いている。これらは冒頭の当会開催趣旨を僅かではあるが標榜するものであった。

### 主催

一般社団法人新構造社埼玉支部  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第32回全国平成水墨画展

全国平成水墨画協会 埼玉会館

9月7日(木)～11日(月) 10:00～17:00

### 当日の状況

第32回全国平成水墨画展は出品者数が100点を切り、会場も小さくなったが、個性的な作品が多く、作品の前で、「この作品は何を表現しているのか、描いた人はどういう人か」など真剣に聞いてくる人もいて、会場の中に色々な人の輪が出来てにぎやかであった。また、毎回人気の30分で大作（縦2m×横6m）を描くパフォーマンス終了後に、自然に起こる拍手と歓声は会場に別世界を作り出していた。会場内では人気の子供水墨画教室も実施された。

### 成果

感染症（コロナウイルス）の影響は続き、出品者の減少が止まりそうもないが、少ない作品の中にも、例年より個性的な作品が多く見受けられたことや、若い会員が積極的に活動に参加してくれているのは希望であった。

### 主催

全国平成水墨画協会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第21回先駆ける美術展

先駆ける美術の会 春日部市中央公民館 ギャラリー

9月12日(火)～17日(日) 10:00～17:00(初日は11:00から、最終日は16:00まで)

### 当日の状況

出展数は、38点(絵画36点、彫刻2点)であった。観覧者は、931人となり、昨年を引き続き過去最高であった。

### 成果

当会は、埼玉県東部地域で活躍する美術家で構成されている。会員は、埼玉県美術家協会の会員以上で東京都美術館や新国立美術館の美術団体に属する44名である。今回は新人5人が加わった。埼玉県芸術文化祭地域文化事業への参加は2回目になり、パンフレットやHPを見て来観する方が多かった。100号以上の絵画が8点あり、多くの方からレベルが高いとの評価を受けた。

### 主催

先駆ける美術の会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第66回埼玉書道展

埼玉県書道人連盟 埼玉県立近代美術館

9月15日(金)～17日(日) 10:00～17:30 (最終日は16:00まで)

### 当日の状況

66回展では、587点(前回比25点減)の作品を展示した。最年少18歳から最高齢95歳まで、出品者の年齢層は幅広い。また、県内57市町からの出品があり、ほぼ県内全域に及んでいる。今回4回目となる「高等学校臨書の部」では、125点(前回比20点減)の作品が集まった。陳列総数は合わせて712点(前回比45点減)であった。

17日(日)、浦和ワシントンホテルにおいて、一般部と高校臨書の部で分けて授賞式を挙行了。授賞式後、同会場で祝賀懇親会も開催し、121名の参加があった。

3日間とも好天に恵まれ、参観者総数は950名であった。前回よりも150名減ったが、前々回よりは多かった。新型コロナウイルス感染者が増えている状況下であったが、たくさんの方に作品鑑賞をしていただけたと考えている。

### 成果

アンケート結果では、「素晴らしい作品を見る機会となった」、「東洋文化を広める良い企画である」、「たくさん作品を目にすることができて勉強になった」など、一般観覧者の方や書道愛好家から感想をいただいた。また、「受賞作品の解説があると良い」といった意見もいただいた。埼玉書道展が今後も末永く開催されることを期待する声もあり、レベルの高い書道展であることを多くの方々が理解していると感じられた。

また、今回で4回目となる高等学校臨書の部についても、「高校生、とてもうまい。これからも楽しみです」といった好意的な意見が多かった。

### 主催

埼玉県書道人連盟

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第31回埼玉県三曲協会定期演奏会

埼玉県三曲協会 響の森 桶川市民ホール  
9月17日(日) 11:30~16:30

### 当日の状況

昨年30回目の節目として記念の演奏会を開催した当協会であるが、本年は通常の定期演奏会との位置付けで開催した。県内各地で活動をしている箏曲（生田流・山田流）と尺八（都山流・琴古流）の団体による全18曲のプログラムで、来場したお客様を和楽器の音色で魅了した。

晴天にも恵まれ、昨年以上の350名以上のお客様に御来場いただいた。



### 成果

桶川での開催も4年目ということで、桶川地域の方にも、楽しみにしていただいている方が増えている。古典曲だけでなく多様な曲を演奏したことは、三曲の「伝統文化」としての側面だけでなく「現代性」を示せた。

子供教室の生徒による演奏は、伝統文化の次世代への継承に力を入れている当協会ならではのプログラムで、好評を博している。

尺八や箏という楽器に興味を持ったという声があり、和楽器の魅力を広く発信している。

会員にとっても、他の社中のレベルの高い演奏を聴くことで刺激となり、更なる取り組みへのきっかけとなった。



### 主催

埼玉県三曲協会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 八潮オリジナル市民ミュージカル第15回本公演「キャズの涙」

八潮オリジナル市民ミュージカル実行委員会 八潮メセナホール  
9月18日(月・祝) 1日2回公演 11:00開演の部 15:00開演の部

### 当日の状況

コロナとインフルエンザが同時に流行する中、1名がインフルエンザになったが、本番当日に外出禁止が解け、無事に本番に参加することが出来た。本番ではステージに照明が入り、今まで以上に出演者も演技に熱が入っていた。多くの観客の皆様にも応援していただき、見守る出演者たちの保護者も感動していた。そして公演終了後には観客からの心温まるアンケートを読み、2度目の感動を覚えた。出演者たちが一丸となり舞台上に立つ姿に皆が心打たれた。



### 成果

公演を無事終えることで、子供たちは一回り大きく成長したと感じた。観客からのアンケートにも「子供たちが楽しそうに舞台上に立っている姿に感動し、元気がもらえた。」と書いていただいた。今後もこの活動を続けていく原動力になったと感じている。この公演に携わってくださったすべての皆様に感謝申し上げます。



### 主催

八潮オリジナル市民ミュージカル実行委員会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 埼玉県歌人会第128回秋季短歌大会・熊谷短歌会第31回熊谷市民短歌大会合同短歌大会

熊谷短歌会 埼玉県歌人会 短歌大会 9月24日(日)13:30~18:00 熊谷市立市民ホール  
作品展 9月19日(火)~24日(日) 熊谷中央公民館展示ホール

### 当日の状況

熊谷短歌会と埼玉県歌人会の合同の短歌大会となった今大会は、久々に入場制限がなくなり、越谷市や深谷市など市外からの参加者も多く約100名が熱心に参加した。

歌会の前に熊谷に因んだ講演「壺井栄と熊谷」があり、意義深い会となった。

作品展は、役員と会員にも公募。

### 成果

応募者 189名

応募作品総数 378首

表彰者数 28名

応募者全員と関係機関に「第128回埼玉県歌人会・第31回熊谷短歌会 合同短歌大会作品集」を寄贈配布した。

作品展は出展者29名、出展作品数44点。来場者は80名。

### 主催

熊谷短歌会

熊谷市文化連合

埼玉県歌人会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第30回埼玉県百人一首大会

埼玉県かるた協会 戸田市スポーツセンター  
9月23日(土・祝) 9:00~18:00

### 当日の状況

埼玉県内に在住、在学又は在勤をしている方及び県内で競技かるたの活動をしている方で、初心者（初段の取得を目指す方）を対象として開催した。

また、新型コロナウイルス感染症の感染に留意し、入場時の体温測定、消毒液設置等、感染リスクの軽減に努めた。

### 成果

本大会が初めての大会参加となる初心者の参加が予想されることから、大会参加を通して、競技技術の向上やルールやマナーの習得ができるよう、ルール、マナー、大会参加時の注意事項等の説明を適宜、行いながら運営を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響により、所属する学校や部活動以外で練習する機会が減っている中、県内の選手の貴重な交流の機会でもあることから、引き続き、感染症対策に留意しながら、開催をしていきたい。

また、本大会は30回目の節目となる大会となったが、今後も継続的に大会を開催できるように、県内の競技かるたを盛り立てていける人材の確保にも努めていきたい。

### 主催

埼玉県かるた協会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第52回飯能市写真連盟展

飯能市写真連盟 飯能市市民活動センター

9月26日(火)～10月1日(日) 10:00～18:00 (最終日は16:00まで)

### 当日の状況

約200㎡の展示会場に、写真出品作品の中から予め入賞入選作品として選出された連盟会員46人の91点(内入賞入選17点)と、市内高校生39人の47点(内入賞5点)を展示した。

各日、受付・案内係2名を配し、来場者の誘導・案内に当たった。



### 成果

6日間の期間中364人の来場者があった。

9月30日同施設内別会場の表彰式では内沼博史県議、新井重治飯能市長を始め多数の来賓のご臨席を得て、埼玉県知事賞を始めとする入賞・入選22作品の作者に表彰状を授与した。

### 主催

飯能市写真連盟

飯能市 飯能市教育委員会

飯能市文化祭実行委員会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## とめきち芸術祭 ベビーカーコンサート

特定非営利活動法人 共同生活推進協議会 浦和コミュニティセンター 多目的ホール  
9月28日(木) 10:50~11:30

### 当日の状況

東京藝術大学卒業のプロの演奏家3人を迎え、サクソと歌とピアノによるコンサートを開催した。乳幼児139人を含める284人のたくさんの親子が来場した。

会場では、泣いてもぐずっても大丈夫。クラシックだけでなくアニメや童謡など、子どもたちが大好きな曲が楽しめる。また、手作りの大型絵本を使い、会場に語り掛けながらプログラム曲を進めた。ベビーカーはロビーに置けるようにした。演奏前後には、協賛企業の着ぐるみも登場し、楽しいダンスや、一緒に写真を撮る時間もつくり、子ども達を飽きさせない工夫をした。



### 成果

0歳、1歳、2歳児の親子がほとんどであり、一般的な「就学未満お断り」、「3歳未満お断り」、のコンサートでは音楽を聴きに行けない親子が安心して来場できていた。実施したアンケートでは、「40分とコンパクトな時間で様々な楽器やリズムに触れられ2歳児も楽しんでいました。」、「赤ちゃん向けコンサート、泣いてもぐずっても大丈夫なものもともと少なく、とてもよい取組みだと思います。」、「音楽がはじまると0才の我が子も泣きやみ、ステージに顔をむけてみました。親のリフレッシュにもなりました。」という声をたくさんいただいた。

また、大好評の運営ボランティアとして、学生・社会人・セカンドシニア（さいたま市セカンドライフ支援センター「り・とらいふ」ボランティア）の方々、企業参加の方々など、総勢26人が会場運営を支え、多世代で地域文化を通しての子育て支援をすることもできた。



### 主催

特定非営利活動法人 共同生活推進協議会  
みにこん会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行員会





## 第23回ちちぶ民謡・民舞の祭典

秩父民謡団体連合会 秩父市福祉女性会館ホール  
9月30日(土) 10:00~16:30

### 当日の状況

少し前までの暑い毎日が嘘のように、9月30日(土)は朝に小雨が降り、少し肌寒い日での開催となった。8時30分に全員が集合し、会場の準備を行った後、全員の集合写真を撮影し、10時10分から開演となった。

今年度はコロナの流行が収まったが、インフルエンザの流行が始まり、小・中学校においては学級閉鎖が散見された。舞台演技者以外は、マスク着用をお願いして演技進化した。

### 成果

今年度は秩父の謡に関する教室を開き、広報活動を順調に行えた。秩父歌舞伎正和会にもご協力いただき、秩父地域文化財秩父歌舞伎公演との抱き合わせにより、歌舞伎開催前に秩父の謡の公演をさせてもらう等の広報活動も行えた。

秩父区域の民謡に新曲4曲を加えて公演を行い、地域の方々と親睦を深め、民謡・民舞文化の高揚に寄与することができた。

### 主催

秩父民謡団体連合会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 公募 第55回 第一美術協会埼玉支部展

第一美術協会埼玉支部 埼玉県立近代美術館  
10月3日(火)～8日(日) 10:00～16:30

### 当日の状況

会期中は季節の変化とともに秋の訪れを感じ美術鑑賞に適していた。

朝から来場者もあり、この展覧会を楽しみにしているとの声が多数あった。

一般の出品者の中には、より上達を目指す人もおり、講評を参考に熱心に作品に向き合う姿勢を強く感じた。

来場者は県内外の方も多く、美術展の文化交流の場としての意義を強く感じた。

作品の種類は、10号から100号まであり、油彩、水彩、彫刻、モザイク、水墨画など多彩な出品があった。



### 成果

出品者数101人、出品点数142点、入場者数951人。

今回、特に、水墨画（1000×120）の共同作品とさいたま桜高等学園の皆さんの作品に注目があつた。

来場者の声の中に、「埼玉の地域文化のため、豊かな人生のための糧に出来ればと足を運び、素敵な時間をありがとう」とあつた。

私たち一同、これからも良い交流の場にしていきたいと思う。



### 主催

第一美術協会埼玉支部  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第54回 書元会書作展

書道研究書元会 さいたま市大宮ソニック市民ホール  
10月7日(土)～9日(月・祝) 9:00～17:00

### 当日の状況

第54回目の書作展は10月7日から3日間にわたって開催し、審査員、依頼、一般部会員の漢字、かな作品262点を展示した。一般部会員の作品から最高賞「書元大賞」をはじめ40点の特別賞を設け、受賞者の表彰は当会場にて行われ、受賞者の喜色満面の笑顔が印象的だった。

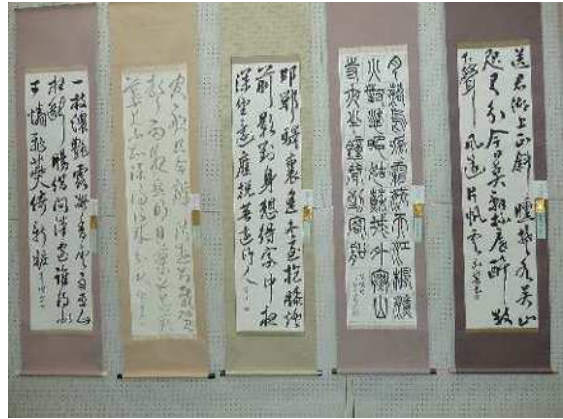
鑑賞者は、さいたま市、上尾市などから延べ約300名の来場があった。

### 成果

毎回のことながら作品のサイズは条幅半折軸表装の力作が揃い、書道に対する日頃の鍛錬の成果を発揮された作品が目立った。書写技術の向上と書道芸術の発展に寄与するところは大きい。

### 主催

書道研究 書元会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第39回邦楽（箏、三絃、尺八）のつどい

川越市三曲会 川越南文化会館  
10月8日(日) 12:30~16:00

### 当日の状況

第39回を迎えた今年の定期演奏会は、晴天にも恵まれ、昨年と同様多くの方々にご来場頂く事が出来た。

毎年楽しみに来て下さるお客様をはじめ、商業施設や公民館などに置かせて頂いたチラシを見て初めて邦楽を聴きに來てくださった方々など、大勢のお客様が最初から最後まで熱心に聴いてくださった。

### 成果

6歳から85歳までの幅広い年齢層の50人が出演した。各社中は、それぞれに古典や現代曲を交え、お客様に楽しんで頂けるプログラムを用意し、日頃の成果を十分に発揮した。

初めて邦楽を聴いて下さった方々には「こんなに幅広い音楽があることを初めて知り、とても楽しかった。」などの嬉しい感想を多数いただいた。

### 主催

川越市三曲会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第33回さきたま連句大会実作会

埼玉県連句協会 川口総合文化センター・リリア11階大会議室  
10月8日(日) 12:00~16:00

### 当日の状況

さきたま連句大会は、芭蕉俳諧の伝統を引き継ぐ歌仙形式の連句を実作する全国的にも貴重な存在となっている。

大会当日は、参加者24人が“埼玉といえば”にちなむ席名の5座に分かれて、開会式（磯会長挨拶、県実行委員会会長メッセージの代読、来賓ご挨拶等）に続き、各句座の指導者（捌き）により、今日一日のお仲間（連衆）の自己紹介や進行上の約束事などを確認したのち、和気あいあいと連句実作が進められた。

歌仙形式の連句は長句（五七五）と短句（七七）を交互に連ねて36句目の揚句で満尾する。通常は楽しく会話しながら3、4時間ほどを要するので、本日巻き上がらない座においては宿題となり、捌きの指示により完成させて後日の事務局提出となった。来年の再会を約して、つつがなく第33回さきたま連句大会実作会は終了した。

### 成果

連句は連衆と呼ばれる実作者が一堂に会して前句に対して句を付け合う文芸である。今大会は新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後の初めての本格的連句大会となったが、日本連句協会会長より三密回避対策をとりつつ、一座建立の意義と即興の妙による一期一会の醍醐味があったとの言葉を戴いた。

また、参加者の誰からも時折マスクを外しての久しぶりの対面句座で連句本来の当意即妙を楽しく体験できたことや捌きの指導がその場で直接受けられたことが、今後の句作活動の励ましになったとの言葉をいただいた。

### 主催

埼玉県連句協会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## アミーゴ秋まつりvol.16 いるまクラフトフェア

特定非営利活動法人入間市文化創造ネットワーク 入間市文化創造アトリエアミーゴ 館庭  
10月8日(日)・9日(月・祝) 10:00~16:00 (9日は15:30)

### 当日の状況

今回はクラフト出展を昨年より増やし21展のクラフト作家の作品を来場者の方たちに見てもらった。会場内ではそれぞれのブースで作家さんと来場者が会話を楽しんでいる様子があちこちで見られた。クラフト体験ブースでは芸術の秋にふさわしいワークショップを子どもも大人も楽しんでいた。1日目は館庭で開催できたが2日目が雨天で室内開催となった。あいにくの天気でもクラフト作家のブースやテラスライブの演奏、ワークショップを目当てに多くの方が来られた。2日間で2800人の来場があった。



### 成果

16回目となり、地域の中では定着しているイベントとなっているのを感じた。毎年楽しみにしているとアンケートでも回答があった。

アンケートより：『いつもクラフト体験が楽しみです。何か新しいことができる、すてきなアート作品が買える、期待を裏切りません！』『手づくり品がステキでイベントもあり楽しいです。』『全てにおいて素晴らしい内容でした。雨にもかかわらず、参加団体の皆様の熱意を感じました。』『ファミリーで楽しめるリーズナブルなイベントでうれしいです。これからもどんどんやっていただきたいです。』



### 主催

特定非営利活動法人入間市文化創造ネットワーク  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第76回秩父写友会 写真展

秩父写友会 秩父地域地場産センター 2階展示コーナー  
10月12日(木)～16日(月)

### 当日の状況

秩父写友会では毎月1回の例会を開催し、会員の作品を相互に勉強しあう中で、第76回写友会展は会員の独自の発想と長年培った写真への思いをそれぞれ一つのテーマにまとめて発表することとした。

作品の大きさはA3ノビから全倍とし、展示数も1点から6点にまとめテーマに関連した展示を17名の会員が行った。

期間中は、出品者が毎日会場の受付をし、展示作品について来場者からの質問や撮影場所を聞かれた場合、受付担当者がそれに答えた。

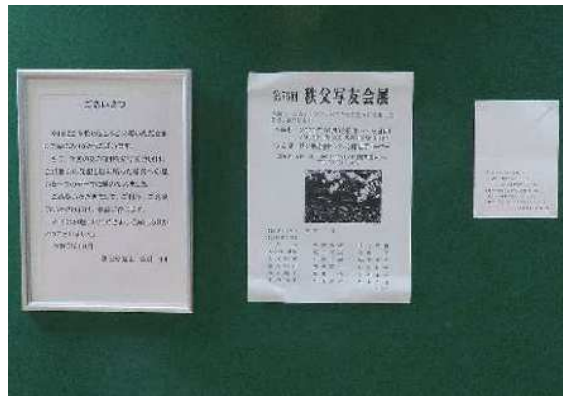


### 成果

来場者は県内から写真グループの方々が10%、秩父郡市内の方々が90%で、それぞれ個性のある作品展示に高い評価をいただいた。

### 主催

秩父写友会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 折り紙夢工房作品展

折り紙夢工房 川口総合文化センターリリア 3Fギャラリー  
10月18日(水)・19日(木) 10:00~17:00

### 当日の状況

いまだ新型コロナウイルスが流行する中、スタッフはマスクを徹底、消毒液を常備しての開催となった。

今回のテーマは花らんまん。春夏秋冬の花をパネル作品に仕上げ、展示の中心とした。各教室の展示コーナーでは、この日のために会員が作り溜めた渾身の力作が並んだ。

平日開催だったため、例年より若干少ない来場者数ではあったものの、4年ぶりとなる折り紙無料講習を待ち望む声に答えることができ、盛り上がりを見せた。

### 成果

折り紙無料講習の久しぶりの実施に受講者からは、出来上がった作品に歓声を上げる方や、家に帰ったら孫と一緒に楽しみますなどのお声を頂き、楽しんでいただけたと同時に折り紙が皆さんの癒やしとして必要とされているのが実感できた。

### 主催

折り紙夢工房  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# おけがわ市民芸術文化祭2023

おけがわ市民芸術文化祭実行委員会 桶川市民ホール  
10月19日(木)～29日(日)

## 日 時

- 器楽・邦楽の調 会場：桶川市民ホール ホール 10月21日(土) 13：00～17：00
- 合唱フェスタ2023 会場：桶川市民ホール ホール 10月22日(日) 13：00～16：00
- 芸能の広場 会場：桶川市民ホール ホール 10月29日(日) 10：00～16：30
- 総合アート展 会場：桶川市民ホール ギャラリー  
10月19日(木)～29日(日) 10：00～17：00

## 当日の状況

「器楽・邦楽の調」は10団体が出演し、和楽器やバンド、吹奏楽などの演奏を行った。  
「合唱フェスタ2023」は15団体が参加し、魅力ある歌声が会場に響き渡り多くの来場者があった。  
「芸能の広場」は13団体が参加し、民謡やダンス、相撲甚句など様々な芸能の発表を行った。  
「総合アート展」は161作品の出展があり高校生の作品展示や生け花が会場を彩った。

## 成 果

「器楽・邦楽の調」では演奏への好評の他、新たな出演団体もあり、活気あるステージとなった。観客からも「日常生活を忘れさせてもらえる音色に酔わせてもらった」「親しみやすくて心を込めて演奏している姿が印象的だった」などのお言葉を頂戴することができた。  
「合唱フェスタ」では各団体が練習の成果を発揮し、魅力ある歌声を披露した。  
「芸能の広場」は小学生以下のダンスチームから89歳の舞踊出演者まで、幅広い年齢層の出演があり、「出演者のみなさんのパワーを感じた」などのお言葉を頂いた。  
「総合アート展」は出展作品数が減少したものの市内高校の生徒による出展もあり、新たな試みとして「自由展示コーナー」を設けて気軽に作品を展示できる機会を作った。多くの観覧者から「芸術の秋を堪能させてもらった」「素晴らしい作品の数々に感動した」などの声も頂けた。

## 主 催

おけがわ市民芸術文化祭実行委員会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 秋の茶会

埼玉県茶道協会 武蔵一の宮 大宮氷川神社内  
10月22日(日) 10:00~15:00

### 当日の状況

半世紀を越えて茶道各流派が集う当会の秋茶会は、今年も格式ある武蔵一宮大宮氷川神社にて開催した。さわやかな秋晴れの下、当協会顧問をはじめとすご来賓や県内外から茶の湯を愛する方々、約300名が訪れた。

茶席は大日本茶道学会・裏千家・表千家の先生方が各席を担当した。各席グループ分けし、プラカードで誘導された方々が順次席入りをされ、各席主の心入れの趣向に席中の秋を楽しみながら、お菓子とお抹茶を味わっていた。そして、お席主とお正客の会話に真剣に耳を傾け、再び観る事が出来ないお道具の数々を鑑賞していた。また、待合いのテントで振る舞った香煎茶も好評だった。会場は一期一会の時を満喫した笑顔の人々で終日賑わい、無事盛会に終了した。



### 成果

埼玉県茶道協会会員相互の協調と親睦のみならず、県民に広くアピールでき、県内外から幅広い世代が多数訪れた。洋服での参会者も多く、アンケートでは「グループごとの茶席移動が良かった。神社内の茶席でのんびりした時を過ごせた。優雅な気分になれた。お道具の説明などお話頂き勉強になった。香煎席のもてなしが良かった。」等々感謝のメッセージを多数戴いた。伝統文化茶の湯への理解と関心を高め、身近な生活文化の振興に貢献できた。



### 主催

埼玉県茶道協会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第17回こどもライブフェスタ2023

特定非営利活動法人子ども劇場おやこ劇場埼玉センター さいたま市文化センター他  
10月22日(日)～12月9日(土)

### 当日の状況

11月4日にさいたま市文化センターで行われた当日は午前午後合わせて270名（子ども153名、大人117名）の参加で、大いに盛り上がった。伝統あそびコーナーを中心に、紙コップタワー、ダンボール迷路のあそび体験やひかる宝石箱、ふしぎゴマ、紙コップロケットの工作体験の各コーナーも終了まで賑わった。

### 成果

日常でのあそび体験不足もあってか、募集開始まもなく定員に達するなど事前から期待感があり、当日の会場も熱気に溢れた。子どもだけでなく付き添いの方も一緒に遊ぶ姿が見られた。伝統あそびのデモンストレーションに感激する声や「楽しかった」「また来たい」の声が多く、事業の継続への期待が寄せられた。

### 主催

特定非営利活動法人子ども劇場おやこ劇場埼玉センター  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第44回太平洋埼玉展

太平洋美術会埼玉支部 埼玉県立近代美術館  
10月24日(火)～29日(日) 10:00～17:00

### 当日の状況

支部同人の作品、招待作品、一般応募作品の計99点を展示した。油絵、水彩を中心に染織や版画もあり、100号以上の大作が11点あった。

6日間の開催で、小学生から高齢の方まで702人が来場し、千葉、東京、神奈川、山梨など遠方からの来場者もいた。



### 成果

来場者へのアンケートでは、「毎年楽しみに来ている。この展覧会を継続してもらいたい。」「展示作品に幅があり、それぞれの作品に感心した。」「県の主催とは知らなかった。来年もぜひ来場したい。」「作品に迫力があり、自分も絵を描きたくなった。」などの感想が寄せられ、大変好評であった。

最終日には、埼玉県知事賞、太平洋美術会奨励賞をはじめ12名に各賞を授与した。

太平洋埼玉展は、県内の美術愛好家が絵画鑑賞を楽しみ、また自ら作品を発表する場として44回にわたり開催しており、今年度も充実した内容で実施することができた。



### 主催

太平洋美術会埼玉支部  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 津軽三味線コンサートみんようまつり2023

津軽三味線貢治会 飯能市市民会館大ホール  
10月29日(日) 14:00~16:00

### 当日の状況

ご高齢のご来場者も多いと予想し、念のため出演者とスタッフは全員マスク着用、また前回同様、看護師を例年の倍の人数、誘導係も多めに配置した。

おかげさまで市民会館駐車場が満車になるほど多くの皆さまにご来場いただいた。

参考：YouTubeより舞台風景

<https://youtu.be/admmgyjv7Bg>

### 成果

大盛況の緊張感の中、小学生をはじめ幅広い年代の出演者が、それぞれ目標を定め頑張っていた。

マスク着用だったが、生での歌唱は好評だった。マスク着用での歌唱が不安な曲は、前回同様、事前録音の音声を利用した。

ご来場の皆さまの満足の声を後日たくさんいただき、各音楽関連の専門家の高評価もあり、伝統芸能の普及に貢献できたと思う。次回に向け意気込む出演者たちの姿に、伝統芸能の継承、後進の育成にも貢献できていると感じられた。いただいた皆さまのご意見・ご感想を見れば、大成功だったと言える。反省点は改善し、次回さらに良い舞台になるよう精進する。

皆さまの安全を最優先に考慮した舞台、おかげさまで今回も無事に開催でき安心している。

### 主催

津軽三味線貢治会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第39回上尾市文化芸術祭

上尾市文化団体連合会 上尾市コミュニティーセンター  
11月3日(金・祝)～5日(日) 9:00～17:00

### 当日の状況

3日、午前10時からの開会式では、畠山市長はじめ、市議会議長・上尾市教育長・地元選出の衆議院議員・県議員からの激励の祝辞を頂いた。

公演部門では11時から邦楽邦舞会員及び上尾高校箏曲部による箏・尺八・三絃の演奏が10曲披露された。

最後に小学生の伝統文化子供お箏教室のお箏の童謡4曲演奏が披露され、観客の拍手喝采を浴びた。

5日、吟剣詩舞道では会員90名が出演し、尺八の演奏で美声を披露した。

展示部門では3日～5日にかけて、いけばな協会の40名の作品、及び美術家協会の50名の作品が展示された。いずれも目を見張るような作品ばかりで来客の関心を高めた。

実技部門の囲碁連盟では3日にノーハンドィの上尾囲碁名人戦(参加人数10名)・男女囲碁ペア戦(8組16名)を実施した。4日・5日にサークル対抗団体戦を行った。4日の対抗戦は三段以上で8組24名、5日の対抗戦は二段以下で8組24名で実施した。

囲碁の参加者はいずれの対局も年配者で若年層の参加がなく課題となった。



### 成果

一般来客者に5団体の1年間の活動の成果を見たり聞いたりして頂いて、上尾の文化向上に改めて感心と感動を与えた。

### 主催

上尾市文化団体連合会  
埼玉県 埼玉教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第7回幸墨会一門展

書道研究 幸墨会 イオンモール羽生 イオンホール  
11月4日(土)～6日(月) 10:00～18:00

### 当日の状況

11月4日から6日まで3日間に渡って開催された。会員の掛け軸・額装等、硬筆・仮名・臨書・創作等の作品104点を展示。参考として中国清代の書家作品、幕末から明治にかけて活躍した南画家の作品を展示。来場者652名の方を迎えて各作品に関心が集まり会場内は静かに鑑賞する雰囲気の中、感動、感心、興味を示す人達の表情が其処彼処に溢れていた。



### 成果

書を通じて会員相互の親睦、信頼関係、書道技術の向上を目指す展覧会であった。展覧会を応援して下さる各界の方々の来場、コロナが沈静化し協賛を頂いている「イオン」の協力により華やいだ展覧会を開催することが出来た。

県北地域での精神性の高い書道芸術展の開催に関係者一同自信と誇りが生まれ、来年度の開催に向け更なる努力を続けようとする会員達の強い自覚が現れ最終日は来場者、関係者に惜しまれつつも展覧会は閉幕となる。



### 主催

書道研究 幸墨会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第15回熊谷ひばりピアノコンクール

熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会 熊谷文化創造館さくらめいと 太陽のホール  
11月19日(日) 10:00~18:00

### 当日の状況

開催に至り、本年もコロナの影響から参加者の減少も危惧していたが、無事の開催をすることが出来た。幼児から専門的な部門や趣味の大人の部門な方まで幅広い年齢層の方に参加していただいた。小さな参加者の「こんな大きいホールでピアノが弾けるの、うれしいね!」という声に主催者側もとてもうれしく思い、また次の開催にも力を入れたいと思った。



### 成果

目的に「地域の芸術文化向上、生涯学習としてのピアノ演奏の理解を深め、音楽的情操教育の発展を目的とする。」とある様に「ピアノ演奏の場の提供」ということで大きなステージで、ピアノの最高峰のスタインウェイのフルコンサートピアノで演奏できる貴重な場所を、幼児から大人まで幅広い年齢の方に提供することができ、また、レベルの高い演奏を聴く事が出来た。参加者の達成感を開催者側からも感じる事が出来、大変うれしく思った。演奏する喜びをこれからも提供していきたいと思う。



### 主催

熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第11回 彩の国埼玉 ジュニア 桴（ばち）の祭典

埼玉県太鼓連盟 深谷市花園文化会館アドニス  
11月19日(日) 13:00~14:50

### 当日の状況

埼玉県内で活動する和太鼓団体のジュニア（高校生以下）7チームとゲストの郷芸銀美露（皆野町）を含めた8チームによる演奏会になった。

新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行されたことにより4年振りに定員等の制限を解除して開催することができた。来場者は220名程で前回から大幅な増員とはならなかったが、拍手だけでなく久しぶりの声援が出演者の力となり、ジュニアらしい元気のある演奏ができた。



### 成果

来場者の大多数は、出演者の家族と思われるが、和太鼓が好きな一般のお客様の来場も見受けられた。

演奏会を通して、参加者相互の交流を深めると共に、地域の伝統文化の継承・振興と青少年の健全育成及び日本太鼓の普及を図ることができた。

また、本演奏会は、令和6年3月24日にさいたま市で開催される「第26回日本太鼓ジュニアコンクール」の予選を兼ねており、今回は地元で開催されることから、優勝した川越ふじ太鼓（川越市）と準優勝の駒王太鼓「嵐」（嵐山町）の2チームが全国大会に出場することができる。



### 主催

埼玉県太鼓連盟  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第48回 埼玉県西部地区合唱祭

埼玉県西部地区合唱連盟 坂戸市文化会館「ふれあ」

11月23日(木・祝) 10:00~17:00

### 当日の状況

第48回埼玉県西部地区合唱祭は、コロナ禍以前同様の形態で開催した。天候にも恵まれ小春日和の中、成功裏に終えることができた。加盟32団体の内、出演団体29（女声19団体、男声3団体、混声7団体）（2団体での合同演奏あり）。出演者数は、指揮者・伴奏者を含め525人、一般客数300人超での合唱祭となった。久しぶりに講師・一般客を迎えての大会だったためもあり、どの団体も日頃の練習成果を発表しようと、一段と気持ちの入った演奏で、合唱の魅力を楽しめる一日となった。



### 成果

一般客に配布したアンケートも100枚弱回収でき（以前より倍増）、お客様も通常開催を喜んでくださっているのを感じた。年齢は10歳未満～85歳以上の全年齢層、住所は県内の19市町に渡っていた。特に会場所在の坂戸市の方が35人と最多、遠くは深谷市やさいたま市、北本市の方も。感想には「素晴らしい歌声に感動した。」「生き生きと歌う姿が素敵だった。」「楽しいひと時、心が豊かになった。」等の感想を多くいただいた。西部地区合唱祭は地域の芸術文化活動推進の一助になっていると実感した。



### 主催

埼玉県西部地区合唱連盟  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 彩西美術展 '23

彩西美術会 坂戸市文化会館「ふれあ」  
11月28日(火)～12月3日(日) 10:00～17:00

### 当日の状況

県西部において、独創的で個性的な創作活動を展開する作家の作品を一堂に展示し、県西地域における美術理念の向上に資することを目的として、平成19年12月に初開催。以来今年で、17回目、埼玉県芸術文化祭地域文化事業としては12回目の開催となった。今回も出品者55名、具象から抽象、立体、書と幅広いジャンル68点の展示、製作意図の掲示製作意図は出品者の思いが伝わって作品を観る参考になった。



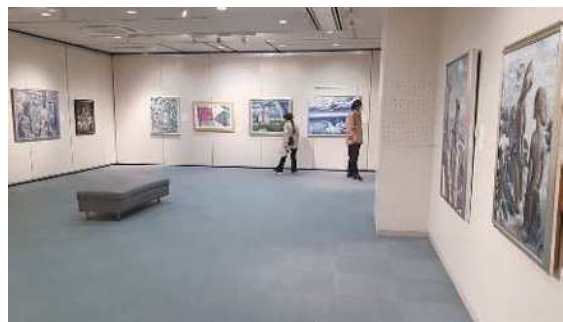
### 成果

今回の来場者は724名、アンケート調査の回答は130名。記述欄には「多様なジャンルで作品、作風を楽しめた」「実力ある重厚な作品で見ごたえがあった」「芸術のすばらしさ、パワー、心の栄養を貰った」など称賛の言葉を頂いた。施設の職員さんの引率で、入所の方々に来場して頂き、地域で芸術に触れることが出来、有り難いと皆さんに楽しんでいただけた。会員、来場者共に高齢化が進んでいるが、地域の方々、そして会員相互の交流も図れて、開催した意義はあったと感じている。



### 主催

彩西美術会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉芸術文化祭実行委員会



## 第57回全日本書道芸術展

全日本書道芸術院 埼玉県立近代美術館  
12月5日(火)~10日(日) 10:00~17:30

### 当日の状況

会場はコロナ以前の入場者よりさらに増した。観賞する年代層にも幅の広がりが見られ、展示作品に興味を持ち充実した観賞に時間を費やしているように見えた。

### 成果

今までの出品作品より大作が多くなり、表現力が多彩になった。なお色々な書体が広がり展覧会作品が繁栄され、内容が充実していた。また、出品者の年代も広がった。

### 主催

全日本書道芸術院  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第35回サンシティ市民合唱団定期演奏会

サンシティ市民合唱団 サンシティ越谷市民ホール  
12月10日(日) 14:00~17:00

### 当日の状況

コロナ禍明けの演奏会。これまでの検温の実施と入場制限は無くし、手指消毒液のみ設置した。また演奏者のマスクは自己判断とした。保育室を設置し、比較的多くのご利用をいただいた。観客は約400名。

### 成果

3度目となる一般公募による「第九」のステージを設け、好評を得た。年々参加者が増え、新しい出会いに繋がっている。コロナ禍を経て歌い繋いでいくという心を共有し、「第九」の神髄に迫るステージとなった。モーツァルト グレイトミサのステージでは、美しく、迫力があり観客の心に響いたようで、「迫力があり心に響いた」「ハーモニーが美しく清らかな気持ちになった」「長調の響きが堂々としていた。特にサンクトウスのフーガの所に感動した」などのお言葉を頂き、また「コロナ禍を経て、合唱を続けていること自体が素晴らしいと貴重なことと思います」など活動の継続性に対する賛辞も頂き、開催したことの意義を再確認した。

### 主催

サンシティ市民合唱団  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第58回「郷土を描く児童生徒美術展」

一般社団法人 埼玉県校外教育協会 埼玉県立近代美術館

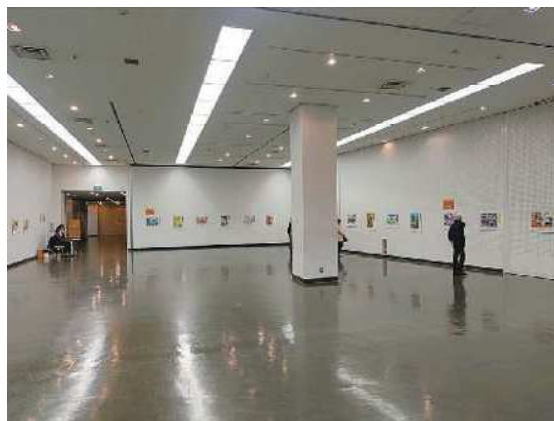
12月23日(土) 10:00~16:30 12月24日(日) 10:00~16:00

### 当日の状況

埼玉県立近代美術館を会場に2日間の日程で開催し、中央審査会の審査を経て選ばれた知事賞120作品を展示した。

県内各所から600名を超える方々に御来場いただき、広いスペースにゆとりをもって飾られた作品を、落ち着いた雰囲気の中で鑑賞していただいた。

会場では、家族や親戚で訪れ、子供の作品を見つけて作品と一緒に記念撮影をする姿や作品の前で嬉しそうに談笑している姿が多く見られた。また、展示された作品を夢中になって眺め、印象に残った作品を撮影している子供の姿も目立った。



### 成果

本美術展は、児童生徒が郷土を描き、その作品による展覧会を実施することによって、郷土埼玉に対する理解と認識を深め、郷土愛の高揚を図ることを目的としている。

当日に行ったアンケートでは、「子供たちの発想力・表現力の自由さ、たくましさに圧倒され、力をもらいました。」「埼玉県の色々な景色を見られておもしろかったです。」「より絵を描くこと、見るのが好きになりました。」などの声が寄せられ、本事業が郷土埼玉の魅力を再発見するきっかけとなり、子供たちの健全な育成に貢献することができたと考えている。



### 主催

一般社団法人 埼玉県校外教育協会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会

